

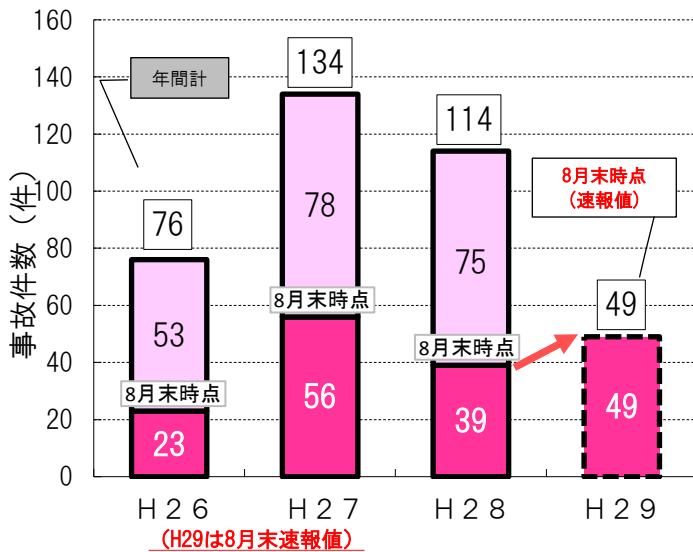
## H 2 9 東北地方整備局における工事事故発生状況【8月末速報値】

◆東北管内の事故件数の推移は、H 2 9（8月末速報値）で49件。（前年同期比126%）  
 東北管内の死傷者数の推移は、H 2 9（8月末速報値）で29人。（前年同期比121%）  
 発生件数が、昨年より10件（26%増加）となっている。

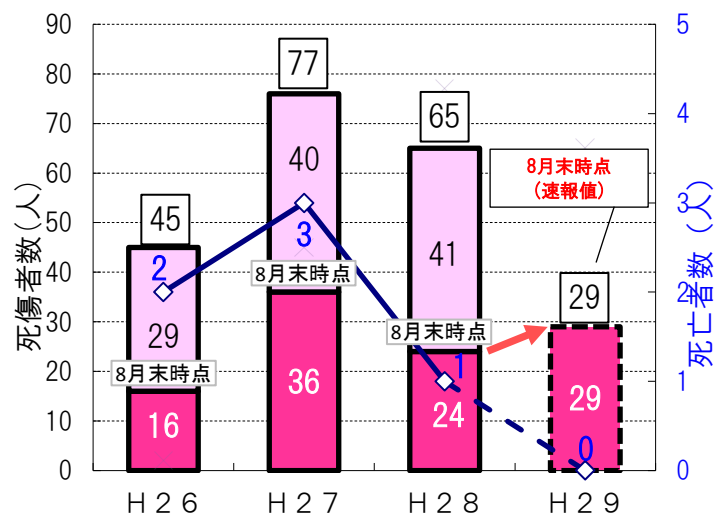
◆死亡者は0名。

◆事故件数内訳は、労働災害29件（挟まれ7件、墜落・転落6件、飛来・落下5件、機械・工具取扱4件、転倒3件、その他4件）、物損公衆20件（架空線切断10件、埋設物損傷3件、道路設備損傷3件、飛来・落下1件、その他3件）

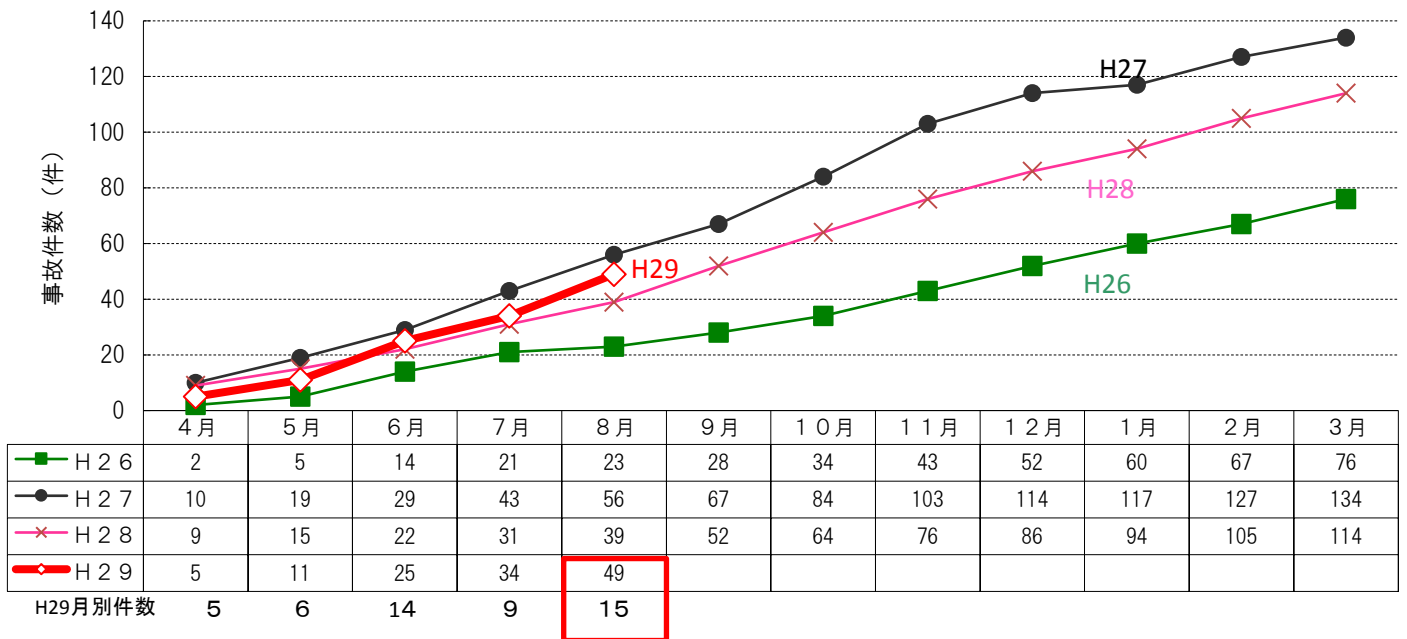
### 事故件数の推移



### 事故における死傷者数の推移



### 月別累計事故件数

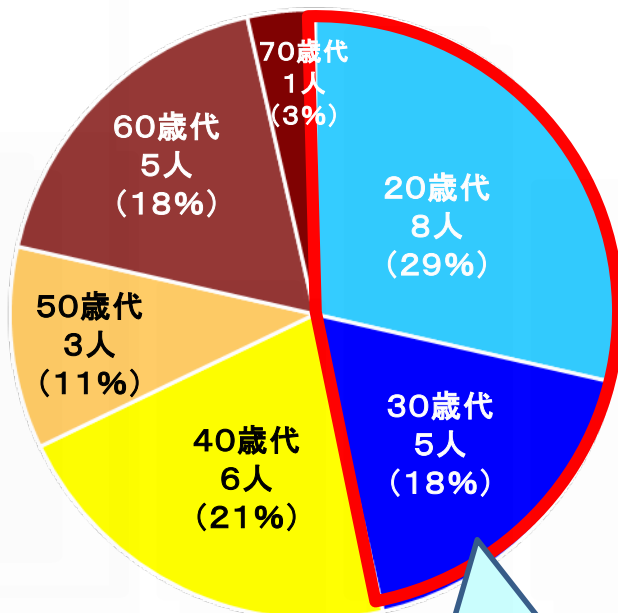
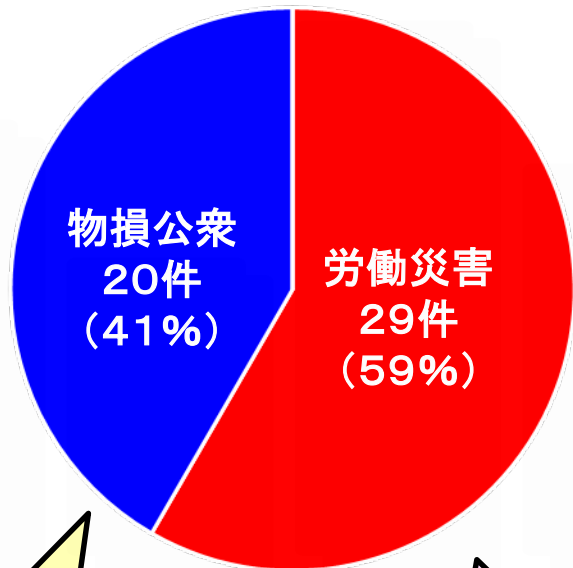


# 工事事故発生状況（分類別、被災者・加害者年齢別）（H29 東北地方整備局管内）

- ◆分類別工事事故発生状況は、労働災害が28件（59%）、物損公衆が20件（41%）発生
- ◆労働災害の被災者年齢別では、若年層である20歳代と30歳代の被災割合が高く全体の47%を占める
- ◆物損公衆の加害者年齢別では、経験豊富と思われる60歳以上が全体の53%を占める

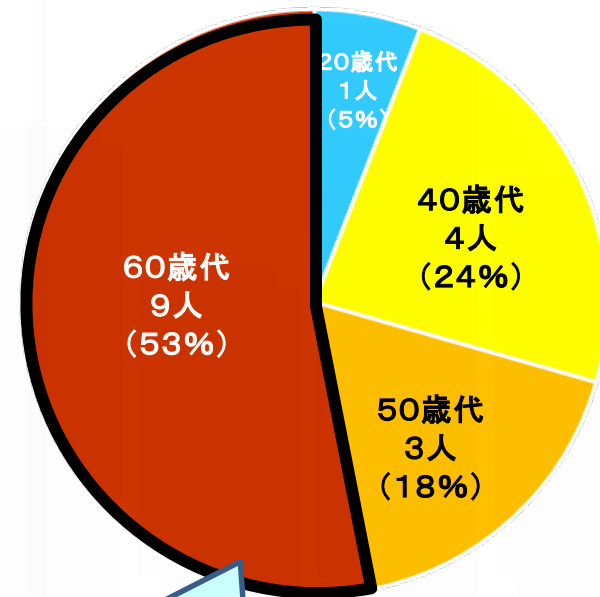
## 労働災害

H29工事事故分類別内訳(図1) H29工事事故被災者年齢別(図2)



## 物損公衆

H29工事事故加害者年齢別(図3)



架空線切断 10件  
(H28:17件,分類別1位)  
埋設物損傷 3件  
(H28:11件,分類別2位)  
道路設備損傷 2件  
(H28:5件,分類別5位)

挟まれ 7件  
(H28:17件,分類別1位)  
墜落・転落 6件  
(H28:6件,分類別5位)  
飛来・落下 5件  
(H28:15件,分類別2位)

20歳代,30歳代の若年層の被災割合がやや増加し全体の約47%  
(H28は約35%)

60歳代以上のベテランに多い傾向

※データは8月31日時点速報値

										措置検討
通報NO	事故NO	発生日	発生日時刻	災害分類	事故分類	事故概要	被災者年齢	事故原因	措置打合結果	
<b>4月 事故件数5件(労働災害2件、物損公衆3件)</b>										
1	1	H29.04.08(土)	12:15	労働災害	墜落・転落	法肩で作業を行っていたBHが傾いたため、玉掛用具を使用して別のBHを使用して体勢を立て直した後、BHオペレータが玉掛用具を取り外そうとしたところ、キャビン後部より足を滑らせて約2m下に転落し負傷(右肩鎖骨骨折) ※労基署よりは正動告書と指導票が出される	37歳	・BHが路肩から滑って法面で不安定な姿勢となった(路肩部明示の不足→のぼり旗設置) ・BH上での作業の安全性確保(作業足場を新たに設置) ・通常の手順でない作業にも関わらず、手順の確認を怠った	文書注意	
2	2	H29.04.10(月)	13:38	物損公衆	取扱運搬	工事用道路造成中の伐採作業中に、倒した倒木が突風により予想以上の距離で倒れたため、電力線とNTT線を切断。家屋約300戸が停電。電力は2時間以内に復旧。NTT線は5時間以内に復旧。(NTT線は水道事業団のポンプ室のデータ管理用のものであるため、一般公衆への被害は無) ※重大事故扱い		・伐木作業時の突風を未考慮(吹き流し等の風速観測を実施) ・倒木と架線との距離が短い(保安距離を見直し) ・架線切断へのKY不足(架線近くであれば、ウィンチ使用による倒木作業へ見直し)	文書注意	
3	3	H29.04.11(火)	14:10	物損公衆	建設機械	舗装版を撤去後に路盤材をBH(0.25m3)で掘削し、DTに積み込むため、BHを旋回させたところ、架空線1本を切断(架空線は現在では使用されていないため影響は無)。		・BHオペと、架線を監視する合図者との連絡が不十分(合図者は架線とBH位置を確認していない) ・もともと架線下にBHは入らないと計画していたが、オペが気付かず架線下に入った(KY不足) ・架線の防護施設の未設置	措置なし(注意喚起)	
4	4	H29.04.13(木)	13:30	労働災害	その他(挟まれ)	濁水プラントの清掃作業において、配管内に付着した汚泥を鉄筋棒で掻き出したところ(本来の清掃方法とは異なるやり方)、鉄筋棒と配管の間に右手人差し指を挟んだ(右手人差し指の打撲及び挫創)	64歳	・濁水プラントの汚泥排出の日常管理が不十分 ・本来の汚泥排出とは異なる作業を不用意に実施(作業の危険性を認識していない) ・作業方法変更を総括安全衛生責任者と元方安全衛生管理者に未報告	措置なし(注意喚起)	
10	5	H29.04.28(金)	11:05	物損公衆	建設機械	2台同時にトレーラーに積まれたBHが現場に到着し(搬入計画外)、本来1台づつ搬入すべきところ、2台同時にBHを下ろしたため、誘導員のつなかい1台のBHが自走中にアームが架空線(携帯電話用)に接触し、電線の被覆材が剥がれた。事故により地域の携帯電話がつながりにくくなった。		・BHの搬入時間を調整しなかった ・2台同時にトレーラーから降ろしたため、誘導員が1台しか対応できなかった ・作業手順に無い作業にもかかわらず、搬入した下請は元請と未調整 ・架空線防護が無い ・BH走行時に見通し確保のためアームをあげて走行(予定外の釣り込み作業)	口頭注意	
<b>5月 事故件数6件(労働災害5件、物損公衆1件)</b>										
13	6	H29.05.08(月)	12:20	物損公衆	飛来・落下	国道の付加車線施工中、クレーンを移動させ昼休みに入ったところ、クレーン走行箇所に敷いていた敷鉄板の継ぎ目上に、敷鉄板のばたつきを防止させるために敷いていたコンパネが急な突風により飛ばされ、走行中の一般車両に接触。ケガ人はなし。		・コンパネが強風で飛ばされるという現場の認識不足(当時は強風注意報) ・風速観測の未実施	措置なし(注意喚起)	
19	7	H29.05.16(火)	09:00	労働災害	飛来・落下	鉄筋を10tラフタークレーンで荷卸し作業中に、地上30cm程度の高さで補助フックからワイヤーの片側が外れ荷が落下。落下の反動でバウンドした鉄筋の束が被災者の上半身側部に接触した(上半身側部の打撲で全治1週間)	36歳	・主フックに玉掛けワイヤーが絡まる状況で作業を継続していた ・吊り荷が不安定な状態であったにも関わらず待避をしなかった(危険予知不足)	措置なし(注意喚起)	
20	8	H29.05.19(金)	04:15	労働災害	墜落・転落	コンクリートミキサー車を洗車中にホッパーを洗い終えて降りる際、ステップから足を滑らせ高さ1.5mの高さから転落(両手首の骨折)	44歳	・洗車作業の当初作業計画が無い。作業に対するKY不足 ・作業足場が悪い(新たに作業足場を製作)	措置なし(注意喚起)	
24	9	H29.05.23(火)	11:00	労働災害	飛来・落下	橋梁の床版調査中、ブレーカーに接続したコンプレッサのホースが外れ、ホースが暴れて近くでコンクリート殻の集積作業を行っていた作業員の右目の上に接触(右目の角膜びらん)。	29歳	・ホースジョイントの緩みに対する点検が不足していた ・ホースの外れ止め金具がついていなかった。 ・作業着手前の点検がしっかり出来ていなかった	措置なし(注意喚起)	
25	10	H29.05.23(火)	09:00	労働災害	飛来・落下	深礎杭掘削工において、ライナープレートを取り付けるため、ハンドブレーカーを使用し壁面の整形を行っていたところ、壁面上部から岩塊(直径15cm程度)がハンドブレーカー上に落下し、ブレーカーで作業中の作業員の左親指が負傷(左母指挫創)	35歳	・浮き石の点検と除去作業が不足(作業計画に浮き石点検と除去を加えた)	措置なし(注意喚起)	
27	11	H29.05.24(水)	10:30	労働災害	墜落・転落	作業台船上で休憩をとった後、作業場に戻るため台船からクレーン台船に渡る際、台船の突起物(タイヤを吊したロープを結んでいる金具)につまづいて海に転落。すぐにその場にいた別の作業員に救助されたが、転落時に足の付け根を突起物に打ちつけた(腰部挫傷、右股関節挫傷)	25歳	・工事の経験が浅かった(海上工事特有の危険性に関する安全教育が不足) ・台船間の通行ルートが定められていなかった ・台船間に渡り橋が未設置で突起物の明示もなかった(渡り橋橋を設置し、突起物に注意喚起表示)	措置なし(注意喚起)	
<b>6月 事故件数14件(労働災害7件、物損公衆7件)</b>										
34	12	H29.06.01(木)	10:30	物損公衆	その他(機械・工具等取扱)	歩道脇で除草作業中に道路照明灯用の電源ケーブル(ケーブルは釣金具から外れて垂れ下がりの状態)を切断。(ケーブルは夜までに復旧) 作業前の現地事前確認が不足していたことが原因。		・作業員に対する安全教育(危険予知)が不足 ・除草箇所の事前確認不足	措置なし(注意喚起)	
35	13	H29.06.01(木)	11:45	物損公衆	建設機械	現道を移動中のBH0.25m3が、ICのランプ上空の道路標識板に接触して標識板の下側約20cm程度が変形(変形後も標識は認識可)。原因は、BH移動時に視野確保のためアームを上げて走行したこと、走行に際して誘導員の適切な誘導が不足(誘導員はBHの後方に居た)。		・元請は案内標識の存在を把握していたが、作業員に注意喚起をしていなかった ・重機誘導員の誘導位置が不適切(重機後方)であった	措置なし(注意喚起)	
39	14	H29.06.01(木)	16:00	物損公衆	建設機械	ブロック塀基礎を撤去するため、BH(0.45t)により掘削中、基礎下付近深さ0.7mに埋設されていた水道管(φ75mm)を破損(9件の家屋で30分断水)。原因は、現場における情報共有が不十分のため、水道管を移設済みと誤認識して作業を実施。		・水道管を予め、切り回してからブロック基礎を撤去すべきところを切り回し前に撤去した ・現場内の伝達不足	措置なし(注意喚起)	
42	15	H29.06.05(月)	09:35	労働災害	その他(挟まれ)	既設シールコンの撤去作業で、本来、BHでシールコンを起こして、間に枕木を入れて空間を確保した上でスリングベルトを巻かなければならないところ、枕木を入れず、しかもシールコンを起こす位置が違っていたために、起こしたシールコンがバランスを崩し、ベルトを巻く作業員の右手親指が床とシールコンとの間に挟み負傷(右母指近節骨骨折及び右母指末節骨骨折)	34歳	・玉掛け作業に対する危険予知不足 ・玉掛け作業手順の不備(枕木未使用)	措置なし(注意喚起)	
43	16	H29.06.05(月)	15:25	物損公衆	その他(その他)	伐採作業にて、伐採した木が倒れる場所を想定しながら作業していたが、狙った場所に倒れず、倒れた場所にあった別の木にぶつかって折れて国道照明の引き込み線を切断。		・倒木作業に対する事前確認及び対策不足	措置なし(注意喚起)	
47	17	H29.06.09(金)	10:00	物損公衆	交通災害	4tユニック車の走行時、左折しようとしたところ、照明柱(市)にユニック車のブームを接触させ、照明柱が傾斜。(傾斜した照明柱は、市と調整して事故当日中に倒壊防止措置を実施)。原因は、走行時に本来、格納すべきブームを前に出したまま走行したため、左折時にブームが柱と接触。		・ユニック車のブーム格納状態の確認不足(格納すべきところ、前方に出したまま走行)	措置なし(注意喚起)	
48	18	H29.06.13(火)	14:00	労働災害	その他(その他)	点検中のセントルケレンにおいて、作業員が天端の検査窓を開けようとして止め金具を外した際に、窓の取っ手を手で押さえていなかったために窓が勢いよく開き、窓の取手が被災者の鼻にぶつかり鼻骨骨折した。原因は、作業員の不注意(漫然作業)。	33歳	・作業手順書の未整備、ヒューマンエラー(漫然作業)	措置なし(注意喚起)	
49	19	H29.06.13(火)	23:05	労働災害	その他(その他)	トンネル坑内でDTにてズリ出し運搬中に、一時停止すべきところを停止せず、スピードが出たまま進み、撤掘防止の敷鉄板上でタイヤが滑り、急なハンドル操作を行ったところ前輪が掘削箇所へ転落。ダンプの運転手が車内で右足をぶつけた(右膝蓋骨剥離骨折)。	49歳	・運搬通行ルールと速度の未遵守(一時停止) ・敷鉄板上のすべりやすい箇所における対策不備	措置なし(注意喚起)	
53	20	H29.06.14(水)	16:10	労働災害	その他(挟まれ)	トンネル坑内で歩車道ブロック据付け作業中、2人でブロックの高さをカケヤで叩いて調節していたところ、叩き終わると勘違いした被災者が、水平器を持ってブロック天端に手を出し、左手小指をカケヤで加害者に叩かれ負傷(左小指末節骨骨折)。	31歳	・お互いの状況確認が不足(呼吸合わせが出来ていない) ・KY不足	措置なし(注意喚起)	
54	21	H29.06.14(水)	17:00	労働災害	飛来・落下	トンネル切羽でコンクリートの一次吹き付け後の支保工建込み作業中、作業手順を守らず計測を行うと切羽へ近づいた被災者に、切羽天端部からモルタルが落下して被災者の背中当たった。被災者は、一時意識不明だったが救急車で意識が回復(胸椎骨折)。 ※労基署から指導票が出される。	50歳	・立入禁止区域に許可を得ずに立ち入った ・計測管理業務要領書に計測実施(出来型測定)時期が明確にされていなかった ・コンク完了後の切羽・側壁部の点検結果を確認していなかった ・立入禁止対策不十分(LED表示で禁止対策していたが、腰高にテープを張る方法へ変更)	文書注意	
56	22	H29.06.21(水)	10:10	労働災害	その他(挟まれ)	ガードレールの支柱打設作業後、作業員2人で打込機械の片付作業中、一方が調整作業をしていたところに、もう一方が相手の作業状況を確認せず打ち込み機械の収納を行ったため、調整していた作業員の指が機械内に挟まり負傷(左手中指を骨折)。	56歳	・作業手順書の未遵守 ・お互いの状況確認が不足(呼吸合わせが出来ていない) KY不足	措置なし(注意喚起)	
64	23	H29.06.27(火)	11:55	物損公衆	その他(機械・工具等取扱)	既設水道管を移設するため不断水工法で切替工事中に、施工機械の操作ミスで水道管を破損、漏水(影響家屋は11軒で1時間程度で復旧)		・不断水工法の知識や経験が乏しく危険予知等が不足 ・誤った操作方法による事故(下請)	措置なし(注意喚起)	
66	24	H29.06.27(火)	15:00	物損公衆	その他(機械・工具等取扱)	前日、草刈りを行った水位観測所付近を確認したところ、観測ケーブルの損傷を発見。原因は、本来ケーブル周りは手刈りで作業すべきところを機械刈りとしたため。		・破損危険箇所の確認不足 ・視認性の悪い箇所に対する対策不足 ・同じ事務所ですら昨年と同じ事故が発生した。事務所内の共有不足と引継不足。	措置なし(注意喚起)	
71	25	H29.06.30(金)	13:40	労働災害	その他(挟まれ)	エンジンをかけたままサイドブレーキをかけて斜路部分(勾配9%)に停車させていた4tDTに、BH(0.4m3)で1t土嚢を積込中、4段目を積み終えたところDTが後方に動いた。動いたDTを止めようBHのバケットで土嚢を支えたところ、荷台上的作業員(運転手※)が土嚢とダンプのキャビンの間に挟まれ負傷(恥骨骨折)。 ※DT運転手はエンジンをかけたまま離席して荷台で作業して被災	59歳	・急勾配に停車し作業する際の逸走防止対策不足 ・土木工事安全施工技術指針に違反(エンジンをかけたまま離席。車の停止措置を行っていない)	文書注意	

										措置検討
速報NO	事故NO	発生日	発時刻	災害分類	事故分類	事故概要	被災者年齢	事故原因	措置打合結果	
<b>7月 事故件数9件（労働災害5件、物損公衆4件）</b>										
79	26	H29.07.06（木）	08:50	物損公衆	建設機械	測量作業を行うため、測量箇所付近のBH（0.5m3）を支障とならない場所へ移動していたところ、ブームが架空線に引っかかり架空線を切断。架空線は、市の光ケーブル（インターネット、テレビ、行政からの住民連絡として使用）で、11世帯に影響（11世帯におわびのチラシを配布）		・架空線事前確認不十分 ・架空線防護対策不十分 ・予定外作業に対する危険予知不足	措置なし（注意喚起）	
91	27	H29.07.12（水）	08:30	物損公衆	その他（その他）	D Tが同時に2台現場に入ってきたため、交通誘導員が1台のD Tの誘導を行っていたが、もう1台のD Tが誘導のない状態で独断で荷台を上げたため架空線を切断（NTT線）。切断の影響は家屋等2軒（2時間30分後に復旧）。		・架空線事前確認不十分 ・架空線防護対策不十分 ・2台同時に対応する手順ではないため、1台づつ誘導する必要があった	措置なし（注意喚起）	
96	28	H29.07.15（土）	11:25	物損公衆	その他（その他）	4tユニック車にて敷鉄板の撤去作業中、近傍のガードレールへの接触を避けようとアームを旋回したところ、ユニック車がバランスを崩して横転。既存のガードレールを損傷。ケガ人は無し。		・予定外作業に対する安全確認（危険予知）不足 ・誤った使用方法による事故（定格荷重を越える荷の吊り上げ）	口頭注意	
99	29	H29.07.18（火）	09:45	労働災害	その他（その他）	跨道橋のフーチング鉄筋組立作業中に、鉄筋を角材で支えて鉄筋の傾きを調整していたところ、角材が外れて鉄筋が倒れてきた。作業員は倒れた鉄筋の下敷きにはならなかったが、転倒した際に基礎コンクリート端部に腹部を打って負傷（左胸部打撲及び左肋骨骨折）	41歳	・予定外作業（鉄筋傾き修正作業）に対する安全確認・危険予知不足	措置なし（注意喚起）	
109	30	H29.07.20（木）	17:30	労働災害	墜落・転落	トラス支保工解体中に支保工から足を踏み外し、約1.7m下の頂版コンクリートに着地。しかし、着地の際に左足踵をくじいた（左踵骨骨折）。	62歳	・作業員通路の未設置 ・作業に対する危険予知不足	措置なし（注意喚起）	
113	31	H29.07.22（土）	16:20	労働災害	その他（機械・工具等取扱）	二次Con側溝（ベンチフリーユーム）の長さ調整としてエンジンカッターで側溝切断作業を行っていたところ、Conが切りにくくなった時にカッターが予測しない方向に動き、カッターで左頭部から右胸筋下部までを裂傷（30針の縫合。傷は浅くて済んだ）。	57歳	・安全教育不足（作業手順書未遵守） ・エンジンカッター使用時の危険予知・対策不足（台木未使用）	措置なし（注意喚起）	
115	32	H29.07.24（月）	14:15	労働災害	墜落・転落	下部工施工中の足場上で雨よけのためシートを張る作業していたところ、シートで覆われた階段開口部より、背中から約2.0m下へ転落（打撲）	65歳	・予定外作業に対する安全確認（危険予知）不足 ・安全対策（開口部養生等）不足	措置なし（注意喚起）	
123	33	H29.07.28（金）	10:25	労働災害	その他（機械・工具等取扱）	エンジンカッターで二次Conの切断作業をしていたところ、Conが切りにくくなった時にカッターが跳ね返り、顎に接触して負傷（下顎挫創で傷口の縫合）。	24歳	・エンジンカッター使用時の危険予知・対策不足 ・前日に同様事故が発生したにもかかわらず、事務所内での水平展開が遅れた	措置なし（注意喚起）	
128	34	H29.07.31（月）	11:30	物損公衆	交通災害	山砂利運搬中のD Tが荷台を上げたまま走行、旅館1軒のケーブルTV引込線と簡易水道用NTT線（水道異常発生時緊急連絡用）及びワイヤー線を切断し、旅館1軒の外壁を傷つけた。（物損は近隣住民からの連絡で発覚）		・D T運転手の安全確認不足（PT0スイッチ及びダンブアップブザー未確認）	措置なし（注意喚起）	
<b>8月 事故件数15件（労働災害10件、物損公衆5件）</b>										
130	35	H29.08.01（火）	05:50	労働災害	飛来・落下	トンネル内の切羽天端付近をブレーカーでソコ中に粉砕した石が跳ね、キャビンの防護網をすり抜け、保護メガネを割り、被災者の左目付近を直撃。左目眼球内に小石が残っており、眼球破裂で左目眼球全摘出の手術を受けた（左目失明）。	46歳	・飛び石等の防護対策不十分	未定	9月の事故措置委員会後に決定
131	36	H29.08.02（水）	14:55	労働災害	その他（挟まれ）	解体中の支保工トラスのPC鋼棒のラムチェア受プレートを修正するため、元請職員がライナープレートハンマーで打撃していたところ、ナットが落下し、ラムチェア受けプレートとナットの間に左手親指、人差し指、薬指を挟んだ。左手指骨折及び指尖部損傷で、1週間の入院、2ヶ月の通院を要する見込み。	43歳	・報告書とりまとめ中	未定	
132	37	H29.08.02（水）	14:50	労働災害	その他（その他）	流量観測用のボートを着水させた後に、ボートの架台車が護岸を滑り被災者にぶつかった。左手甲の裂傷（全治2週間）のケガ。	73歳	・報告書とりまとめ中	未定	
133	38	H29.08.03（木）	14:45	労働災害	その他（機械・工具等取扱）	斜面の2m程度の低木を伐採作業中にチェーンソーで左肘の内側を約10cm程度裂傷し、数針縫合となった。	44歳	・報告書とりまとめ中	未定	
137	39	H29.08.07（月）	16:40	労働災害	その他（機械・工具等取扱）	修理後のハンドガイド式の草刈機を試運転中に後進したところ、カバーの隙間から足を踏み外し、左足から落下して左足のすねをキャタピラーに擦かれ、左足のすねを骨折。	65歳	・報告書とりまとめ中	未定	
141	40	H29.08.09（水）	11:15	物損公衆	建設機械	翌日からの作業に備え、バックホウを移動（予定外作業）させたところ、現場内を横断している架空線（NTT）を切断した。切断の影響は、一般家屋2軒と専用線1件（気象観測装置用）。約5時間後に復旧作業が完了。		・予定外作業に対する事前の安全確認不足	未定	
146	41	H29.08.11（金）	17:30	物損公衆	その他（その他）	土砂を運搬していたダンプトラックが、作業終了時に場内に戻る際に、荷台を上げたまま走行し、現場内を横断していたNTT架空線を切断した。影響は、店舗等3軒。店舗等はすべて休業中であり緊急性が低かったため、約17時間後（翌朝）に復旧作業が完了。		・報告書とりまとめ中	未定	
148	42	H29.08.17（木）	07:40	労働災害	その他（挟まれ）	ブレーカーのチゼル（ノミ）の交換作業中に、チゼルの固定用ピンが穴に落ちていったため、ピンを押さえていた作業員の右手中指をピンと穴の間に挟み負傷（指先骨折及び縫合）。	20歳	・報告書とりまとめ中	未定	
154	43	H29.08.21（月）	14:00	労働災害	その他（挟まれ）	敷鉄板撤去のためトラックに積み込み作業を行っていたところ、積み込みを手伝っていたトラック運転手がバックホウの停止を待たずにフックを外そうと手を出したため、バックホウのバケットと敷鉄板を吊っていたフックとの間に指を挟み負傷。人差し指と中指を裂傷し、数針縫合。	68歳	・予定外作業に対する安全指導不足	未定	
156	44	H29.08.22（火）	08:10	物損公衆	交通災害	下請の作業員が作業現場に集合するため、4tユニック車を駐車して作業現場に向かうとしたところ、サイドブレーキを確実にしておらず、輪止めもしていなかったため、車両が動きだして情報管路ブルボックスに衝突し、ブルボックス等を破損した。ケガ人はいない。		・車両駐車時のルール及び安全対策不足	未定	
157	45	H29.08.22（火）	15:45	労働災害	その他（転倒）	下請の作業員がパワーブレンダーのトレンチャーピン（約40kg/本）を外した際、足場板につまづき、ピンを持ったまま転倒し手と腕を負傷（左手の切り傷と左手及び右腕の打撲）。	25歳	・報告書とりまとめ中	未定	
159	46	H29.08.24（木）	16:50	物損公衆	建設機械	国道脇の残土置場より残土搬出終了後の整地作業をバックホウ（0.8m3級）にて行っていたところ、バックホウのアームで国道用の街路灯引き込み線を切断した。影響は、街路灯1基の停電。約3時間後に復旧作業が完了。		・報告書とりまとめ中	未定	
163	47	H29.08.25（金）	15:05	物損公衆	建設機械	路床改良作業中にバックホウで誤って水道管を破損。影響は、民家3軒の水道が断水。約1時間30分後に復旧作業が完了。		・報告書とりまとめ中	未定	
169	48	H29.08.29（火）	11:10	労働災害	その他（転倒）	配筋作業のため、鉄筋を運搬して戻る途中で主筋で足を滑らし転倒、そのはずみでベンド筋の小口に右足の脛をぶつけ負傷（右足すね裂傷（5針縫合））。	26歳	・報告書とりまとめ中	未定	
170	49	H29.08.31（木）	11:58	労働災害	墜落・転落	移動作業車（ワーゲン）の移動作業完了後、ワーゲン部材がトラス部の手摺りと接触していたため、手摺りをクレーンで取り除こうとした際に、ワーゲン内の階段踊り場にいた被災者の顔に触れた手摺りがぶつかり、それを避けようとしたところ、バランスを崩し約2m下に転落した。	44歳	・報告書とりまとめ中	未定	